opusdei.org

## 年間第10週日曜 日・C年81痛みや 貧しさに対して

ーナインのやもめの息子の復活、イエスは常に痛みや苦しみに同情される。 一 主に倣う。愛は業で。愛徳の順序。 一 愛するためには理解することが必要である。神はより貧しい人々を愛される。

2024/04/28

年間第10週日曜日·C年

## 81 痛みや貧しさに対して

- 一ナインのやもめの息子の復活、イエスは常に痛みや苦しみに同情される。
- 一 主に倣う。愛は業で。愛徳の順序。
- 一愛するためには理解することが必要である。神はより貧しい人々を愛される。
- 81. 1 ナインのやもめの息子の生き返り。イエスは常に悲しみと苦しみに対して憐れみを示す

今日のミサの福音は、弟子たちや大勢の群衆も一緒についてきた、ナインという名の小さな町に着いた時のイエスを黙想させてくれます。その町は、ナザレの南西約6マイル、カファルナウムから5マイルの所にあります。

その町の門を入ったところで、やも めの一人息子を埋葬する人々の行列 に出会いました。ユダヤ人の習慣に 従って、亜麻布に包まれた体を棺に 乗せて運んでいました。母親には大 勢の町の人が付き添っていました。 ナインにやって来た集団は、死んだ 人の前に立ち止まりました。イエス は、息子のために泣いている母親の ところに行き、憐れみました。イエ スは、偶然、行き交う人々の悲嘆を ご覧になります。素通りすること も、あるいは、呼びかけか願い出を 待つこともできました。しかし、そ のまま行ってしまうことも、待つこ ともなさいません。一人息子を失っ たやもめの悲しみに心動かされ、御 自ら近づいてゆかれたのです。

イエスは哀れにお思いになったと福音史家が書き記しています。ラザロの死のときと同じように、傍目(はため)にもわかるほど心を動かされたのでしょう。イエスは愛ゆえの苦しみ

キリストは取り巻いている群衆が奇 跡に驚くだろうこと、また町中にそ の出来事を言い触らしに行くだろう ことをご存じです。しかし、主の身 ぶりにわざとらしさはありません。 ただあの婦人の苦しみに心を動かさ れ、慰めを与えずにはおれないので す。そして、彼女の方に近づき、 「もう泣かなくともよい | <sup>[1]</sup>と仰せ になります。それは、「涙にくれる お前は見たくない。わたしは喜びと 平和をこの世にもたらすために来た

のだから」と悟らせようとなるさるのようです。その後で、神としがれているかのます。しかした。その後でれなります。しかしながに、人の聖心は憐れみに震のの2、ともがはなる。とれると表れたの体に置きした。それなは、手を若者の体に置きした。で、母親に渡しました。

る心を与えてくださるよう、主にお 願いしなければなりません<sup>3</sup>。

今日、祈りの中で、生涯で出会うす べての人をどのように愛することののか、彼らの不幸に本動に本 の大きるのか、彼らの不幸に本動に本 が大きるのか、方法で自分を行動にる が大きではるかを糾ののようになるといる。 はいるといるののにはなるのになるとができるとができるのと 神に捧げることができるでしまが の行為がたく でしょう。

81. 2 主を真似ること。行いによる愛。愛徳の順序

「イエスは失われたものを救うために」⁴、重荷を和らげ、私たちの惨めさを引き受けるために来られました。イエスは、苦しみ、危機にある人に同情を示すために来られました。イエスは無視しません。イエスは立ち止まります。今日の福音でわかるように、イエスは慰め、救われ

そして、神の愛は、ただの情熱や感情ではなく、主が行いに表されたように、私たちの隣人への愛も行いに表も行いるものでなければなりません。要ヨハネはこう述べていますに、ったもしたちしたさいましたといました。だから、わたしたちも兄弟のとは、た。だから、わたしたちも兄弟のとした。だから、おたしたちも兄弟のとした。だから、おいるです」。。

て、「この愛の行い、つまり奉仕 は、しっかりとした秩序も維持すべ きです。愛とは、愛する者に最良の ことを望み、善いことをしてあげた いと望むことであれば、その愛徳の 順序を考えると、何よりも人々が神 に一致することを望み、この一致に 近づくよう努力しようとするはずで す。最も崇高な善、最終的な善は、 神との一致にあることを悟らなけれ ばなりません。神から離れては、ど の善であっても何の意味も持ちませ ん l<sup>7</sup>。反対に、自分自身や他の 人々にとって最も大切なものとして 物質的豊かさを求めることは、異教 徒や、生温い信仰生活を送り、日々 の振舞い方についてあまり考えない キリスト者の特徴です。そのため、 信仰は実際に彼らの日常生活に殆ど と言ってよいくらい影響力を持ちま せん。

どのような物質的善より霊的善を優 先して考える時にも、正しい良心も つキリスト者は、より正義にかなった社会秩序を促進するという義務を 忘れるわけにはいきません。もっと 正しい社会的秩序を促進するために です。なぜなら愛徳は、物質的な幸福がたとえ二義的なものであるとしても、その物質的な善にも関係があるからです。

隣人の物質的な必要に払うべき心配 りに関する愛がとても重要であるこ と、つまり愛徳を形成するのに必要な 正義と助けを前もって考慮するのが とても大切なので、イエス・キリス トご自身が「さあ、わたしの父に祝 福された人たち、わたしが飢えてい たときに食べさせ、のどが渇いてい たときに飲ませ (…) 」 <sup>8</sup>と、最後 の審判について話される時に断言さ れたほどでした。そしてすぐに主 は、この行いを怠ったものは永遠の 罰を受けると言われた<sup>9</sup>。 いつも心 配りできるこの愛徳を、主が私たち に与えてくださるように願いましょ

う。私たちが救いを完成し、正しい目的地に到達しようとするなら、私たちの兄弟である人々を通して私たちとの出会いをお求めになるキリストを認めなければなりません\_。家族の只中で、仕事場でそして家から離れている時でさえ、私たちは毎日キリストに出会っています。

81. 3 愛するために理解すること が必要です。必要性が最も大きい 人々への愛

ナインの貧しいやもめとの出会いを とおして、イエスは、子どもを失っ た母親の悲しみにどのように寄り添 えばよいか、私たちに示したい まれました。イエスは婦人の苦しみ を分かち合われます。愛するために は、理解し分かち合うことが必要で す。それが思いやりの本当の意味で す。

今日、主に、苦しむ人々と共に苦し み、喜ぶ人々と共に喜ぶために、理

解に満ちた広い心を与えてくださる ように願います。また、できる時は いつでもその苦しみから免れるよう に、私たちがどこにいても、住んで いる人々に溶け込み、幸せを広める ように、私たちを助けてくださいと 願わなければなりません。どのよう な物的善とも比較できない本物の、 そして主な善は、天上の完全な幸せ に導く、神との一致であることを理 解しなければなりません。この世で **貧しい人、苦しんでいる人のための** 《安易な》慰めではありません。む しろ、この世にいる間、どんな状況 にいたとしても自分は神の子であ り、永遠の生命をキリストとともに 相続する者であることを知っている 者の深い希望です。人から希望を奪 い、それを全く自然で物質的な幸福 という別の希望と取り換えること は、詐欺行為です。そのような幸せ は、脆く不安定であるかユートピア に過ぎないので、早晩、絶望の深み に陥ってしまうでしょう<sup>11</sup>。

教会は、救いの神に関する真理は貧しい人々や困難にある人々に対して、特に神の愛が表されることに気ができないことに気ができないとで、貧しい人々への対済こですが、慈動で私たちに同行役しいもるの霊魂を向上させるのに役しいである。私たちは皆、おと付き合うことは、いつも弱

く保護のない人々の中でキリストと 出会っていることを経験していまったで、まさにこの理由で、まっしたのけき合いは霊すのになるということもできますだい。 がはれているともではなるではない。 がはなり霊みの医者でありますが、 はい羊飼いでありった。まさに近ったのでありった。 はなが、まさに近くあるが、 はいきれて小さな兄弟に近く入り込まれます」。

イエスの至聖なる御心と御母マする の御心に心を向け、愛徳が要求ないこ ものに決して受身のままでいように うにお願いましる。これで い。あなたは神のみ前で私たちの とを話し、ないます」 なものを願ってくださいます」 なものを願ってくださいます。 なものを願ってとができるでしょう でいまるでもよう

- [1] ルカ7:11-17
- <sup>2</sup> 聖ホセマリア・エスクリバー, 『知識の香』, 166
- <sup>3</sup> 聖ホセマリア・エスクリバー, 『知識の香』,1 6 7
- 4 ルカ19:10
- <sup>5</sup>聖ヨハネ・パウロII世, Dives in misericordia, 3 0 November 1 9 8 0. 3
- 6 1ヨハネ3:18
- <sup>7</sup>フェルナンド オカリス, Love for God, love for men
- 8 マタイ25:31-40 参照
- 9 マタイ25:41-46 参照
- $\frac{10}{2}$  聖ホセマリア・エスクリバー, op cit, 1 1 1

 $\frac{1}{2}$  フェルナンド オカリス, Love for God, love for men 参照

12 聖ヨハネ・パウロII世, Redemptoris Mater, 2 5 March 1 9 8 7, 3 7 参照

<sup>13</sup> アルバロ・デル・ポルティー リョ, Letter, 3 1 May 1 9 8 7, 3 0

Roman Missal, Antiphon from the Common Mass of Our Lady

pdf | から自動的に生成されるドキュメント https://opusdei.org/ja-jp/article/TO-X-nichi-C/ (2025/12/12)